

「古代ロマン」に触れて みよう

大室古墳群の史跡整備が終了 しました



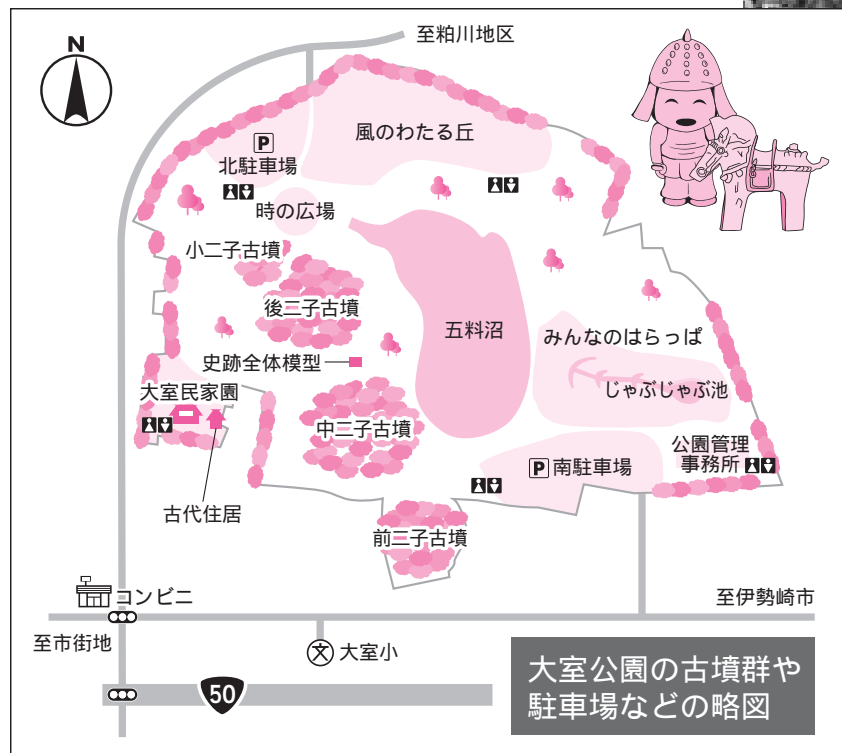
空から見た大室公園周辺



儀式に使われた煮炊きの跡なども

石室は明治十一年に、地元の人たちの手によって発掘されま

後二子 ③



大室公園の古墳群や 駐車場などの略図



初めて公開された石室の入り口

前二子 ①

前方後円墳の墳丘は二段に盛られ、特に上段が高くなっている

19531へ。

大室公園内に点在する大室古墳群では、平成九年度から進められてきた史跡整備がこのほど完成。先月二十九日には記念イベントも盛大に開催され、多くの人たちにぎわいました。今回は文化財保護課でそれぞれの古墳の特徴や整備概要などについて取材しましたので、ご紹介しません。皆さんも自然豊かな大室公園へ出掛けて 古代ロマン に触れてみませんか（担当は市民編集委員・杉山、三輪）。

大室古墳群史跡整備事業についての問い合わせは文化財保護課 23



解明が期待される謎の石室

中二子 ②

大室古墳群の中で最大。掘る二重に巡らした前方後円墳で、赤城山南麓の肥沃な地に君臨した大豪族の栄華をしのべます。

小二子 ④



形象埴輪群と円筒埴輪列を復元

その名の通り、規模は小さいながらも二段の墳丘とそれ

4つの古墳が国指定の史跡に

自然豊かで歴史も学べる公園です

赤城山南麓の中央に位置する城南地区に大室公園があります。雄大な赤城山の眺めが素晴らしい、自然に恵まれた場所です。公園内の四つの古墳は国指定史跡で、それぞれ大きさなどは下表のとおり。赤城型民家や古代住居も整備されました。

また、風のわたる丘「時の広場」「みんなのはらっぱ」なども次々と整備されています。こうした歴史や自然に恵まれたこの公園は、昭和六十年から造成に着手。面積三

六・九の広大な総合公園で、市民の憩いの場として愛されています。

委員会を組織し史跡整備を

史跡整備については、平成元年に大室公園史跡整備委員会を発足させ、学術経験者を中心とした委員が古墳の調査・整備に取り組んできました。

前二子・中二子・後二子の三古墳は六世紀に造られ、千四百年もの歳月を経ましたが、地域の遺産として手厚く保護されていました。流失部分の盛り土や流れた土のすき取りで墳丘を整

見合った横穴式石室、平坦部の円筒埴輪列、墳丘部の形象埴輪など、この時代の基本的な前方後円墳の造りになっています。石室は完全に破壊されていますが、その入り口部分は壊さずに残されていて、埋葬時の状態がよく分かります。また、崩れ落ちた多くの埴輪片が見つかりました。後円部には、家や太刀、盾などをかたどった埴輪二十四個、前方部には、全身像の貴人、半身の武人、飾り馬など十一個を復元するとともに、計三十七個の円筒埴輪を二間隔で配置しています。

4つの国指定史跡				
名称	指定日	長さ	高さ	
前二子(まえふたご)古墳	昭和2年 4月8日	94	14	
中二子(なかふたご)古墳		111	15	
後二子(うしろふたご)古墳		85	11	
小二子(しょうふたご)古墳		38	5	

形し、周辺環境を守りながら整備。一方、小二子は破壊が激しく、築造当時の姿に復元作業を行いました。